

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 吉田福祉会	代表者	前山 千恵子	法人・ 事業所 の特徴	<p>地域の方を丸ごと支えていくという方針で、吉田地区内に福祉サービスを展開している社会福祉法人です。この地区は旧吉田町の中心であり、人口も多い地区です。住み慣れた地域でいつまでも生活を続けられることを念頭に置き、サポートできればと考えています。</p> <p>ひまわりはその中の地域密着型サービス事業所の1つです。グループホームと小規模多機能センターが1つの建物内に併設されており、笑顔が多く、心が和む寄り添うケアを目指し、様々な活動に取り組めるよう努めています。また、今年度より児童クラブも同一フロア内に開園し、放課後は子ども達の元気な声で賑わいます。子ども達が登園するのを心待ちにしている利用者も多く、子ども達の「ただいま～！」に私達スタッフが見たこともないような笑顔で「おかえり～！」と手招きをしている光景が毎日見られています。</p>
事業所名	小規模多機能センター ひまわり	管理者	後藤 達也		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	2人	2人	1人	人	2人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	なし		特になし	なし
B. 事業所のしつらえ・環境	・地域の方々が気軽に立ち寄れるような、困りごと等の相談があった時に入りやすいような環境整備、PRを行う。	環境整備（整理整頓等）には気を配っていたが、まだ至っていない点も多く、引き続き、環境整備に努めていく必要がある。	・地域の方が気軽に立ち寄れるような環境整備も大切だが、来客や業者等が来園した際にしつかりと挨拶を行う等の受け入れるための雰囲気作りも大切にしていかなければならない。	・面会に来られたご家族や困りごと相談等に来られた地域の方が入りやすい外観や入り口となるよう（整理整頓等の）環境作りを進めていく。 ・ご利用者が居心地良く過ごせるようなスペース・環境作りを進めていく。
C. 事業所と地域のかかわり	・“ひまわり”が“施設”機能だけではなく、相談窓口としても活用できる、機能しているところだと知ってもらえるようなPR、情報提供を進めていく。 ・地域の行事には、職員、利用	・Instagramの開設（日常の様子等の発信）、天神祭り、吉田まつり、健康教室、地域の茶の間等へ参加した。 ・地域包括支援センター主催の会議や研修に都度参加した。	・特になし。	・地域の方々にひまわりが相談窓口であるということを知ってもらえるようPRや情報発信の工夫を進めていく。（広報誌にその旨を載せて回覧板で回す、近医、スーパー等に置いてもらう

	<p>者ができる限り参加、協力する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター等と連携して、研修・勉強会等の実施。 			<p>等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事に参加するだけでなく、ひまわりに出向いてもらうような取り組みを実施する（サロンのひまわりでの開催、認知症カフェ等）
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事、イベントにはできる限り参加する。 ・運営推進会議において、地域の心配な方等について、早めの支援につながるように情報提供依頼を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・天神祭り、吉田まつり、健康教室、地域の茶の間等へ参加を行った。 ・運営推進会議にて地域の心配な利用者の情報提供を依頼したが、今年度は特に対象者がいなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外出機会が少ないと過去の運営推進会議でも報告があったため、利用者が外へ出る機会をもっと増やしてあげて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事、イベントにはできる限り参加する。 ・買い物ツアー等を企画し、地域への外出の機会を増やす。 ・運営推進会議において、地域の心配な方等について、早めの支援につながるように情報提供依頼を行う。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動、生活の様子がより分かりやすく伝えられるような取り組み（スライドショー、広報誌、ホームページ等）を今後も継続して行う。 ・地域の心配な方の事例提供、困りごとの相談等も会議において実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドショー、広報誌の定期発行を実施することで、日々の活動・生活の様子は伝えることができた。 ・地域の心配な方の事例や困りごとの相談は推進会議内ではあがることがなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括が実態把握を行うが、ひまわりのエリアで気になる住民がいる時に同行訪問することで、介護サービスを必要としている方にはスムーズに利用につなげることができるのではないか。 ・ひまわりエリアの民生委員と定期的に交流を図り情報交換をしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動、生活の様子がより分かりやすく伝えられるような取り組み（スライドショー、広報誌、ホームページ等）を今後も継続して行う。 ・地域の心配な方の事例提供、困りごとの相談等も会議において実施する。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・災害等を想定とした備蓄品の管理、必要となりそうな物品の購入を行う。 ・避難訓練を見学していただき、意見をいただく。 ・地域の防災訓練に職員も参加させていただく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回実施した避難訓練時に備蓄品の確認を行い、不足品や今後必要となりそうな物品の購入を行った。 ・地域の防災訓練の参加はできなかったため、来年度は参加できるよう調整を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・回覧板等を使って具体的な災害を想定したシミュレーションを出せると良い。近所の人に知ってもらうのは有益だと思われる。 自治会としても、広報誌等も含め、依頼があればいつでも回覧する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害等を想定とした備蓄品の管理、必要となりそうな物品の購入を行う。 ・地域の防災訓練に職員も参加させていただく。 ・自治会の協力を仰ぎ、ひまわりの防災、災害対策を理解もらう。（訓練の様子を広報誌に掲載し、町内に回覧してもらう等）